

〈幼稚園教育〉

幼児がイメージを豊かにし、友達と遊びを広げたり、
深めたりしていくための環境構成や援助の工夫
～ 絵本の活用を通して ～

与那原町立与那原東幼稚園教諭 金城 睦子

I テーマ設定の理由

近年、少子化、核家族化、情報化、人間関係の希薄化などに加え、電子機器の普及が進んでいる。

幼児の生活を見てみるとテレビやゲーム等の受け身的なものであったり、想像して遊ぶ経験が少なくなってきた。また、家庭や地域で子ども同士かかわって遊ぶ経験も少なくなり、友達とうまくかかわって遊べない幼児が見られるようになってきた。幼児が安定した人間関係の基で安心して自己発揮し遊ぶことは大切である。友達と遊びのイメージを共有できるように、直接体験はもちろんのこと、幼児期の特性を大切にしながら、絵本や紙芝居等を活かし、間接体験を味わう中で幼児はため込みをし、友達と一緒に遊ぶことを通して豊かな感性や身近な人とのかかわりや友達関係が育っていくと考える。

絵本は、親しみやすい絵とことばによってイメージをふくらませ、想像の世界を豊かにすることができる。絵本を通じた未知の体験は、幼児の現実の世界と結びつき、言葉にはとどまらず、遊びを豊かにすることと捉えている。

幼稚園教育要領解説によると日常生活の中で出会う様々な事物や事象、文化から感じ取るものやそのときの気持ちを友達や教師と共有し、表現し合うことを通して、豊かな感性を養うようにすることが大切である。幼児は、絵本や物語などで、その内容と自分の経験とを結び付けたり、想像を巡らせたりするなど、楽しみを十分に味わうことによって、次第に豊かなイメージを持てるようになる。幼稚園生活で、幼児が自ら周囲に働きかけられる多様な感情を体験し、他の幼児と一緒に活動することを通して、互いのよさや特性に気付き、友達関係を形成しながら関係を深め、試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや目的を実現する喜びを味わうことが大切とある。このことから、幼児が友達とかかわり遊びを深める中で、幼児自身にため込まれたイメージがさらにおもしろくなるために、自分の思いや考えを他の幼児に伝えたり、幼児一人一人がもつ間接体験が遊びの広がりや深まりに関係してくると考えられる。

本園の園児は、明るく素直な子が多い。自分の好きな遊びで遊ぶ子や気の合う友達と遊びを楽しむ姿が見られる。しかし、遊びの様子を見てみると、一人で遊んでいる子や友達と一緒に遊んでいても、イメージの共有ができないために、断片的であったり、遊びを転々とし、広げたり、深まったりしていない姿が見られる。これまでの保育を振り返ると、幼稚園生活や遊びの中での絵本の活用は、行事絵本や物語に浸るものが多かったように思う。遊びに活かすイメージ作りのヒントや友達同士の遊びのイメージの共有化、間接体験を意識した絵本等の活用、環境構成や援助が足りなかったと反省する。

遊びの中で、友達とイメージを共有し、間接体験を味わうことができることから、絵本の活用は有効であると考え。幼児のイメージを豊かにし、友達と一緒に遊びを広げたり、深めたりできるような環境構成や援助の工夫を探ろうと考え、本テーマを設定した。

II 研究の目標

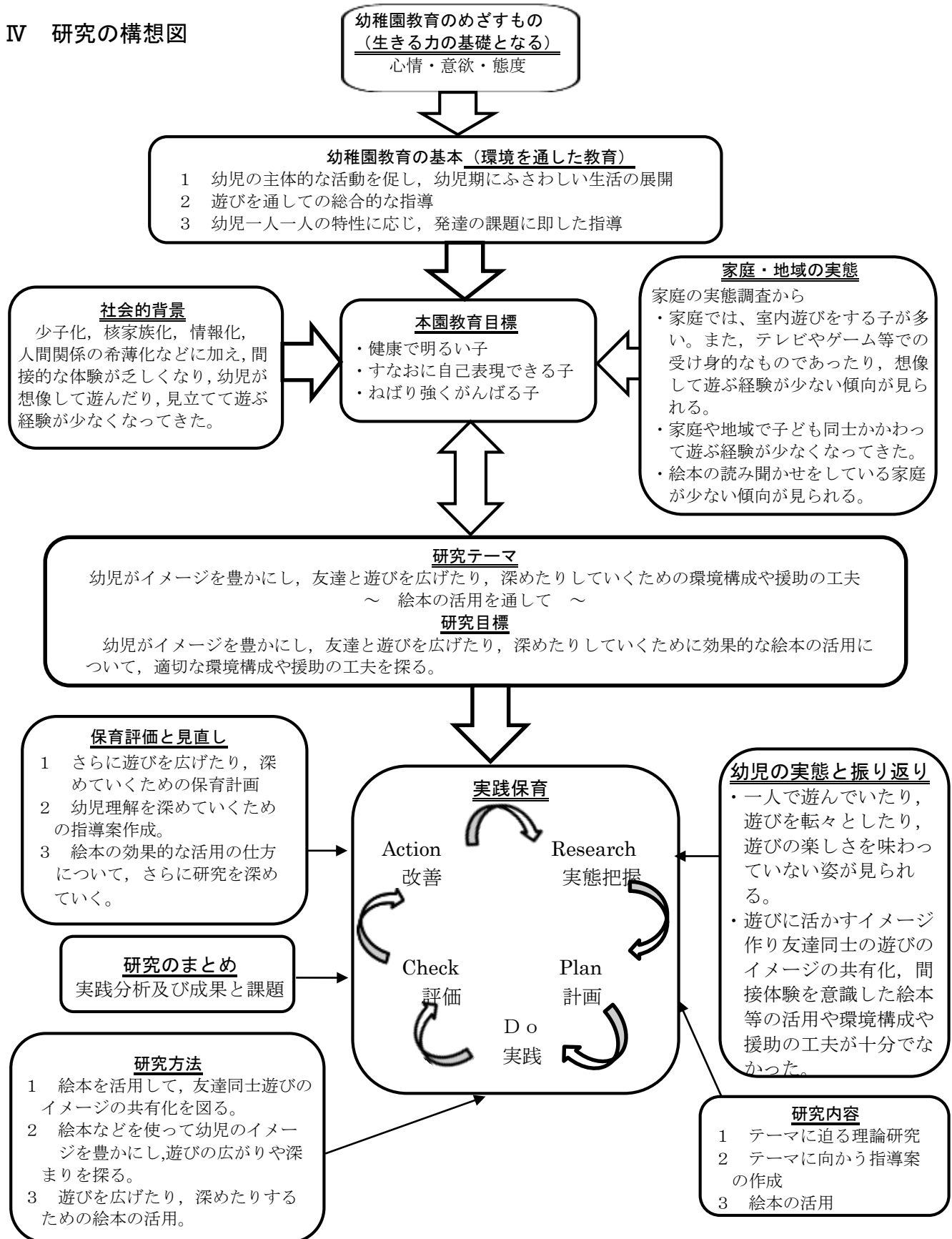
幼児がイメージを豊かにし、友達と遊びを広げたり、深めたりしていくための効果的な絵本の活用を通して、適切な環境構成や援助の工夫を探る。

III 研究の方法

- 1 絵本を活用して、友達同士、遊びのイメージの共有化が遊びの持続や友達関係の広がりにつながるかを探る。

- 2 絵本などを使って幼児のイメージを豊かにし、遊びの深まりを探る。
- 3 遊びを広げたり、深めたりするための絵本の活用。

IV 研究の構想図



V 研究内容

1 イメージの豊かさとは

(1) 友達と遊びを広げたり、深めたりするためのイメージを豊かにするとは

子どもが表現活動を行う際に重要になってくるのが、表現に対してどのようなイメージを持っているかである。対象をどのように感じ、理解しているかということが、表現につながるイメージの源泉となる。また、幼児が様々な体験をすることで自分の思いを教師や友達に言葉を通して表現し、友達の思いや考えに耳を傾けることができる。そして、イメージがより確かなものになり、幼児は自分のイメージの世界を広げ、豊かにしていくことができる。幼児のイメージの豊かさは、言葉の豊かさにつながっていく。

(2) 遊びのイメージを豊かにするための環境構成

子どもが感じたことを表現するとき重要となってくるのが、子どもを支えるまわりの環境である。まわりに表現したいと思う対象があることが、豊かな表現への大切な源である。

例えば、なりきって遊ぶための衣装や遊びに必要なものの造形、効果音や写真や掲示物を通して、幼児が興味や関心をもち、表現したいと思えるような環境構成が大切である。

また、幼児のもっているイメージがどのように遊びの中で表現されているかを理解しながら、そのイメージの世界を十分に楽しめるようにしていく。そのためには、イメージを表現するための道具や用具、素材を用意し、幼児と共に環境を構成していくことが大切である。

(3) イメージを豊かにするための教師の援助

幼児が人間として成長していく過程においては、人とかかわる力を身に付けることが重要である。その基礎は、まず自分らしく行動できるようになることであり、それは教師との信頼関係の中で育まれる。自分らしく行動できることは、主体的に身近な環境に働きかけることができる。友達に目が向けられるようになる。教師と一緒に遊びながら、友達がすることを見たり、聞いたりすることで、幼児が自分の世界を広げていけるようになる。友達に関心を持ち、触れ合っていけるようにし、幼児同士の関係をつないでいくことも教師の役割において大切なことである。

そして、幼児が興味や関心を持ったことに気づき、発想を大切にしたり、また、幼児の創り出した遊びや場、ものの見立ての工夫などを取り上げたりして、それらを遊びの中に取り込んでいくことが大切である。幼児期の特性である、ものを擬人化したり、見立てやなりきって遊んだりすることは、幼児のイメージの世界が出発点である。イメージが膨らんだり、実現できたり、つながったりすることで遊びの中の表現はより豊かになっていく。教師は、今その子にとって意味のある表現であることを十分理解し、受け入れ、認めていくことが大切である。

2 友達と遊びを広げたり、深めたりするとは

(2) 遊びを広げたり、深めるとは

① 遊びを広げるとは

十分に自分の感情を表現できる自由な雰囲気があり、個々の考え方が認められることで、自信が生まれ、自己肯定感が育っていく。また、友達と一緒に遊びにかかわっていくことにより、自分の気付いた点や友達の考えに気付いたりし、感動や知識を共有することになり、コミュニケーションをくり返していくことで、幼児のイメージはさらに膨らみ、遊びは広がっていく。

例えば、バスごっこでは、大きく乗り物として捉え、バス以外にも車種や道、駐車場などのいろいろな乗り物がまわりには、たくさんあることに気づき、遊びを工夫しながら広げていく。

② 遊びを深めるとは

幼児同士が遊びにかかわり、互いの思いや考えを出し合い、友達関係を広げることで、遊びに必要な知識や理解を絵本などの活用を通して、広げ追求し深めることができる。直接経験できないことやしたことのないことを間接的に経験し、興味を持ち、自分もやってみようという意欲や好奇心が育っていく。

例えば、バスごっこで、バスにはチケットやルートや停留所、標識、つり革や降りるためのボタンがあるなど、1つのことを追求し知識を取り入れていくことで、遊びを深めていくことができる。

(2) 遊びを広げたり、深めたりするための環境構成

遊びのイメージにつながるような掲示の工夫をしたり、絵本の読み聞かせ後に、子ども達が自由に見られるようにしていく。また、遊びのイメージに合わせて本物に近づけようと必要なものを作ったり、イメージに合うものを捜したりする力が育ってくるので、置いてある場所を知らせ、いつでも自分達で取り出せる環境構成が大切である。また、不足しているものを幼児同士で考えさせたり、教師に要求させるために、意図的に環境を不十分にしておくことも効果的である。

(3) 遊びを広げたり、深めたりするための援助

遊びの中で、一人一人の持っているイメージを教師が言葉でつなげ、イメージの共有を図り、幼児同士がかかわることで遊びを深めることができる。幼児が興味を持ったことに教師が、好奇心を満たせるような援助をすることによって、考える力を育てていくことができる。教師は遊びの興味や関心や発達段階を知り、他の幼児に広げたいもの、気付かせたいこと等を捉えていく。教師が幼児と共に遊びの展開に向けて幼児理解を深めることで、遊びを広げたり、深めていくことができる。

また、幼児が選んで遊べる環境構成をし、自分の好きな遊びや用具、材料を試し、見立てたりする時間を保障していくことも大切である。

3 絵本の活用を通して

(1) 絵本のよさ

絵本は幼児にとって親しみやすい絵や文字を使っていることから、教師と幼児、または幼児同士が互いに楽しみながら見ることができる。幼児が絵本や物語などの世界に入り込み浸ることで、いろいろな感情を体験し、味わうことができる。例えば、主人公と自分を重ね合わせてなりきることで喜び、悲しみ、戸惑い、怒り、やさしさ、忍耐、思いやる心や共感、想像などの間接体験を味わうことができる。また、創造や意欲、自主性、行動力、知的探求心、思考力等が育つと共に遊びに広がりや深まってくる。

(2) 絵本の精選

教師がその幼児が今、何に興味を持っているのか、何を実現しようとしているのか、何を感じているのかなど捉え続けていく。そのためには、子どもの年齢、発達段階を考慮し、興味や関心にあった絵本の精選をすると記されている。今回の絵本の精選では、遊びを広げたり、深めたりの見地で、興味や関心をもったことを追求してみたいかなるような、写真絵本や月刊誌、図鑑等も取り入れ、現実と絵本の世界に入り込み行き来しやすいものを精選していくことにした。

VI 研究の実際

1 検証保育（1回目 6月）「アナと雪の女王ごっこ」

(1) 設定理由

一人で遊んでいたり遊びを転々としたり、遊びの楽しさを十分に味わっていない姿が見られる。そんな中で、映画の挿入歌「アナと雪の女王」をいくつか歌うことを楽しんでいる姿が見られた。「アナと雪の女王」の物語を読んであげることで、友達とかかわりながら遊ぶ楽しさを味わい、遊びの中でイメージを出し合えるような環境構成と援助の工夫を考えることにした。


(2) 保育のねらい


- ・興味や関心を持った遊びを楽しむ中で、友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。
- ・気の合う友達と考えを出して遊ぶ楽しさを味わう。

(3) 検証のねらい

- ・友達と遊びのイメージを出し合い共有化ができたか。
- ・共通のイメージを持って遊びに必要なものを作ったか。

(4) 検証の流れ

月日	検証のねらい	幼児の姿	○環境構成の工夫 ☆教師の援助	検証結果
6月3日(火)	興味を持った遊びの中で、友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。	3名の女の子が「アナと雪の女王」の音楽をかけ、歌詞を見ながら歌うことを楽しんでいる。 	☆一緒に歌詞を見たり、音楽を聴いたりすることを楽しむ。 ☆「アナと雪の女王」の <u>話の内容を子ども達から聞いて共感する。</u> V-1 (3)	映画を観た子が、物語の内容を出し合うことで思い出し、想像することを喜び、自分なりの言葉で表現し、会話を楽しむ姿が見られた。 V-1 (1)
6月5日(木)	絵本を通して、気の合う友達とイメージを共有する。	イメージの共有 絵本を自分達で手に取って繰り返し読むことを楽しんでいる。 「ドレス、きれいだね。」 「ドレス、着たいな。」 V-1 (1) イメージ豊か 「布あるの？」 「(手で長さを表現しながら) これぐらいの大きさが必要だね。」 「ビニール袋の大きさがいい。」 V-2 (1) 遊びの広がり	○絵本を用意し、自由に手に取って見られるような場に置く。 V-2 (2) ☆絵本を読む。 V-2 (2) ☆「ひまわり組にないなら、作ったらいいんじゃない？」 ☆ <u>ドレスの素材を、子ども達と一緒に検討する。</u> V-1 (3) ☆「布はないみたいよ。」 <u>いろいろな素材を見せることで、自分達で大きさを見て決められるようにする。</u> V-2 (3) ☆「頭と手が出られるようにしましょう。」 ☆色も自分達で決めて、作れるようにする。 V-2 (3)	ドレスの素材を子ども達と検討することで、 <u>友達と話し合いながら、自分のイメージしたドレスを作りたいと喜んでいる姿が見られた。</u> V-2 (1)

<p>6 月 9 日 (月)</p>	<p>遊びに必要な物を友達と一緒に考えを出し合っ て作ることを楽しむ。</p>	<p>雪だるまのオラフを作り たいV-1 (1)</p> <p>イメージの共有</p> <p>新聞紙と折り紙を使って 一人一人が考えを出し合 って作る。 V-2 (1)</p> <p>遊びの広がり</p>	<p>○廃材を使って工夫して、作れるよ うにする。V-2 (2)</p> <p>☆意図的に素材置き場の前で子ども達 と話し合う。「身近にある素材を使 って、できたらいいな。」子ども達 とどのように作りたいか一緒に考え る。V-2 (3)</p>	<p>アナと雪の女王ごっこに 興味のある子ども達で、 考える場を設けたこと で、友達の良さに気づき 一緒に考えを出しあいな がら工夫して作る姿が見 られた。</p> <p>また、アナと雪の女王ご っこの製作にかかわる子 が増えた。V-2 (1)</p>
<p>6 月 10 日 (火)</p>	<p>イメージをふく らませて、自分 なりに工夫して オリジナルのド レスを作るこ とを楽しむ。</p> <p>イメージ 豊か</p> <p>遊びの 広がり</p> <p>遊びの 広がり</p>	<p>「そうだね。かわいくし よう。」V-2 (1)</p> <p>「どうやって作ったの？ (粘着法)」と子ども同士 教え合っている。 V-1 (1)</p> <p>いろいろな包装紙や色付 きテープを使い、工夫し て、飾り付けをしている。 自分で作ったドレスを着 て曲に合わせて友達と一 緒に踊るようになった。 V-1 (2)</p>	<p>○いろいろな素材があることを知らせ クラスに置いてある物は使っても良 いことを確認する。V-1 (2)</p> <p>☆「ドレスをかわいい物にしたら、す ぐに自分の物ってわかるんじや ない？」友達と相談しながら、自分 なりのイメージを持って作れるよ うに言葉かけをする。</p> 	<p>クラスにある身近な素材 を使って、それぞれが友 達と一緒に工夫して作れ た。V-1 (2)</p> <p>自分の作ったお気に入りの ドレスを着て、友達と 遊べるようになった。</p>
<p>【考察】</p> <p>○絵本を通して、遊びのイメージの共有化が図られ、その世界に入り込んだことで憧れに変わり、ドレスを着ることを実現させたいという気持ちがもてたと思われる。(V-1 (1))</p> <p>○友達とドレス作りを工夫することで、幼児期ならではのなりきって遊ぶという世界に入っていったと思われる。(V-2 (1))</p> <p>○「アナと雪の女王」の世界を自分達なりに再現遊びをしたいという気持ちが動いていることから、遊びに必要な登場人物の雪だるまを作りたいという気持ちに向かわせたと思われる。(V-2 (1))</p>				
<p>【課題】</p> <p>○更になりきって遊べるように、他の絵本を活用し、遊びのイメージを深めていけるようにしていきたい。</p>				

2 検証保育（2回目 6月24日～7月）「ハーリーごっこ」

(1) 設定理由

6月22日（日）には校区内でハーリーがあるので、16日に全園児でサバニ見学に行った。13日には「がんばれハーリー」の絵本を担当が読み聞かせをする。見学後に、サバニの絵を描いたことで自分なりのイメージを持って友達同士、イスを並べてサバニに見立て、広告用紙で櫓を作って遊んでいた。実際にサバニに乗って櫓で漕ぐことを体験したことで、絵本等を活用し、知識や理解を深めていくことで、遊びの中で間接体験し、幼児の思いを実現していけるように環境構成や援助の工夫をしていきたいと考え設定した。

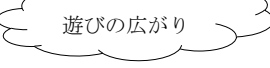
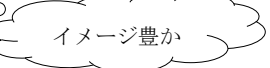

(2) 保育のねらい

友達と一緒にイメージを出し合いながら、遊びを広げたり、深めたりして楽しむ。

(3) 検証のねらい

絵本の活用を通して、幼児がイメージを豊かにし、友達とかかわりながら遊びを広げたり、深めたりするための環境構成と援助の工夫をする。

(4) 検証の流れ

月 日	検証の ねらい	幼児の姿	○環境構成の工夫 ☆教師の援助	検証結果
6 月 24 日 (月)	興味や関心のある遊びで友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。	 ハーリーの ^② ことを子ども達が思い出し、 <u>イスを使ってサバニを作り、周囲を飾りや旗を作って貼りつけていた。</u> V-1 (1) 実際ハーリーを見てきた子が「カーン！カーン！ <u>って鳴らす鐘があったよ。</u> 」と話したので、 <u>空き缶を鐘に見立てて鳴らしている。</u> V-1 (1) <u>サバニをペットボトルで作れるかと思い、持ってくるのが作ることが難しかった。</u> V-2 (1)	○「がんばれハーリー」の絵本をすぐ目につく位置に置く。V-2 (2) ☆22日(日)にあったハーリーの様子を話題にする。 ○周囲の遊びを見ながらイスを使って遊ぶ。 ○ <u>空き缶を用意する。</u> V-2 (2) ☆イス以外にもサバニができないかと考える V-2 (3) ☆ダンボールはどうかと提案する。 V-2 (3) ○ 	 イスで作ったサバニに他児も仲間に入り、一緒に櫓作りをしたり、サバニの中で会話や船で遊べるイメージを出し合って遊んでいた。 V-1 (1)
6 月 26 日 (木)	友達と考えたり工夫したりしながら、遊びを膨らませて遊ぶ楽しさを味わう。	K男がダンボールを持ってきて、友達と一緒に作る。 <u>2つつなげて、皆で乗れるようにしている。</u> V-1 (1)	○ <u>ダンボールを幼児の目のつきやすい所に用意して置く。</u> V-2 (2) ☆「何人乗りにするの？」友達も一緒に作れるような言葉かけをする。 ○ 	友達と協力し合いながら製作を楽しんでいた。 V-2 (1) 
7 月 1 日 (火)	友達とイメージの共有して、協力しながら、広げたり、深めて遊ぶ楽しさを味わう。		○当添ハーリーのサバニ見学に行った写真を拡大し、絵本と並べておく。V-2 (2) ☆ <u>櫓にも色があることを気付かせる。</u> V-2 (3) ○サバニの絵を描き終わった子から順に <u>壁に飾る。</u> V-2 (2) ○これまでのハーリーごっこの流れがわかるように <u>写真にして貼っておく。</u>	友達と協力しながら工夫して作っていた。 <u>絵の好きな子を中心に絵を描いたり、絵の具で色を塗ったり、形に合わせてハサミで切ったりしている。</u> V-2 (1)

7月1日(火)		<p>「色も形(柄)も違うね。」 V-2 (1)</p> <p>「櫂もサバニの色と同じだね。」 「太くして硬くしたらいいんじゃない？」 V-2 (1)</p>	<p>V-2 (2) ○<u>絵の具セットを用意しておく。</u> V-2 (2) ☆「<u>広告用紙で作ったものは、折れるね。どうしたら折れないのかな？</u>」と考える場を設ける。V-2 (3)</p> <p>☆<u>櫂の色を確認しながら、作れるようにする。</u> V-2 (3)</p> <p>遊びの深まり</p> 	 <p>サバニと櫂が<u>同じ色だと気づく事ができた。</u> V-2 (1) 写真を見ながら、<u>折り紙を使って作ることができた。</u>V-2 (1) <u>新聞紙の枚数を重ねて太くしたり、厚紙で工夫し作っていた。</u> V-2 (1)</p>
7月4日(金)	<p>友達と考えを出し合いながら、遊びを深める。</p>	<p>「ゆうぎ室で乗ろう！」 「交代ずつ乗ろう！」 「3人ずつかな？」 「～ちゃんも入っているよ。」</p> <p>「赤・青・白の3艘で競争していたよ。」 V-2 (1) 「海の中に旗があつて、それを回っていたよ。」 V-2 (1)</p>	<p>○「<u>広い所がいいね。</u>」 ☆「<u>何人で乗れるかな？</u>」 ☆「<u>さくら組も仲間に入っているよ。</u>」 ☆「<u>今日は、1艘しか乗っていないけど、ハーリーは1艘なの？</u>」多くの子がかかわって遊べるような言葉かけをする。 ☆「<u>サバニはどのように競争していたの？</u>」 V-2 (3)</p> <p>遊びの深まり</p>	<p>自分達で考え、ゆうぎ室や戸外でも乗り、戸外での友達も遊びの仲間に入れながら楽しんでいた。</p>
7月7日(月)	<p>友達と共通の目的を持って遊ぶ。</p>	<p>「私、青チームがいいな。」 「<u>ぼくも、ハチマキしたい。</u>」</p> <p>遊びの深まり</p> <p>慌てて櫂で漕ぐのを忘れ走り、転倒する子がいる。</p>	<p>☆遊びを深めていけるように、<u>ハチマキを用意する。</u>V-2 (2) ○赤と青のコーンを用意しておく ○スタートラインを子ども達と一緒に決める(ビニールテープを貼る) ☆「<u>どうやって漕ぐんだった？</u>」 ☆「<u>漕ぐときには、1・2・1・2って声を合わせてって言ってみようね。</u>」 V-2 (3) ☆「<u>慌てないで、櫂を漕いでみよう。</u>」</p>	<p>皆でやることによって、<u>声を合わせて遊ぶ楽しさを味わえた。</u> V-2 (1)</p> 
7月16日(水)	<p>ハーリーごっこを友達と一緒に楽しむ。</p>	<p>「ぼく、ハーリーごっこをしたいな。でも一人みたい。」 「<u>鐘を鳴らしたら、仲間が来てくれるかも。</u>」ドラを鳴らすことによって、友達が寄ってきた。</p>	<p>☆「<u>どうやったら、仲間が増えるかな？</u>」 ☆自分達でも遊びを進めていけるように、<u>ベルを渡し、子どもがスタートの合図をしていけるようにする。</u> ☆「<u>皆が準備できたら、ベルを鳴らそうね。</u>」 ☆<u>明日も遊びが楽しめるように「エイサー！ハーリー」の絵本を読む。</u>V-2 (2)</p>	<p>友達を呼ぶ方法を幼児なりに考え、仲間を呼びハーリーごっこを楽しむことができた。</p> <p>絵本の活用</p>
<p>【考察】</p> <p>○友達と遊びを楽しむことで<u>イメージを共有し、サバニを再現したいという気持ちが高まった</u>と思われる。(V-2 (1)) ○<u>写真や絵本の掲示</u>をすることにより、<u>具体的なイメージを持つことができ、遊びを工夫していったのではないか</u>と思われる。(V-2 (1) (2)) ○ハーリーごっこのサバニで転倒することにより、<u>かけ声に合わせて足並みを揃える</u>ということを<u>絵本等の活用</u>を通して気づき、<u>遊びの追求へとつながっていった</u>と思われる。(V-2 (1) (2)) ○幼児にとって、自分達の住む地域のことを知り、<u>地域とつながりを持って生活をしていくことは重要である。</u>また行事とのかかわりでとても大きい。<u>そのような遊びを保育に取り入れていくことの大切さがわかった。</u>(V-2 (2))</p>				
<p>【改善】</p> <p>○教師自身が広い視野を持って遊びこめる環境構成や援助の工夫。(V-2 (2) (3)) ○幼児の興味や関心に合わせ、<u>絵本の精選や内容を検討。</u>(V-3 (2))</p>				

幼児の実態	・ハーリーごっこでは、身近な素材や廃材を利用してイメージしたことを友達と一緒に工夫して製作することを楽しむ姿が見られる。 ・絵本や写真を見ながら、友達と一緒に遊びを考える姿が見られる。	ねらい	◎遊びのイメージを持って友達と一緒に楽しむ。 ◎友達と一緒に作った物で遊ぶことを楽しむ。
		内容	○いろいろな素材や材料を使い、工夫して遊ぶ。 ○友達と一緒に目当てを持って遊ぶ。
予想される 幼児の活動	○環境構成 ☆教師の援助	教育要領の視点	
<p>8 : 0 0 ○登園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順次登園する ・持ち物の始末をする。 ・生活リズムチェック表提出 <p>○好きな遊びを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び <p><u>色水遊び</u>、<u>泡遊び</u> <u>二輪スクーター等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内、ベランダ、遊戯室で遊ぶ <u>ハーリーごっこ</u>、<u>絵本を読む等</u> 	<p>☆笑顔で挨拶を交わし、健康や個々の状態を把握する。</p> <p>☆持ち物の始末が自分でできるような言葉かけをしたり、時間のかかる子を励ましていく。</p> <p>☆生活リズムチェック表を提出させ、担任でチェックした子から、できた所にシールを貼らせる。</p> <p>～○○すると楽しいね～</p> <p>○遊びに必要な遊具や用具を子どもと一緒に考えたり、揃えたり整えたりしていく。</p> <p>○季節を感じるものの掲示や製作のヒントになるような絵本を置いておく。</p> <p>☆遊びの中で、ハーリーにかんする絵本を楽しめるようにする。</p> <p>☆本物のハーリーのことを思い出したり、話合ったりして、力を合わせて遊べるようにする。</p> <p>☆子ども達のつぶやきなどにも耳を傾けながら、良い考えを取り入れて遊べるようにしていく。</p> <p>☆この時期ならではの遊びの中で友達同士、触れ合う中で気付いたり、疑問に思ったことに耳を傾け、発見した喜びを共感していく。</p> <p>☆自分なりのイメージを出し、友達と共通の遊びになるような言葉かけをしていく。また遊びの中で工夫して遊んだことを認め、他児に伝えたりできる場を設け、伝える喜びや、他児の気持ちに共感したりできるようにする。</p> <p>☆皆で力を合わせてできるように言葉かけし、教師が一緒にやる事で模範を示し、子ども達に気づかせていく。</p> <p>○☆明日も遊びが引き続き楽しめるよう、子ども達と話し合いながら場を整えておく。</p> <p>○清掃に必要な道具を取り出しやすい位置に出しておく。</p> <p>☆明日への期待を持って降園できるようにする。</p>	<p>言葉 内容 (6)</p> <p>健康 内容 (6) 人間関係 内容 (3)</p> <p>環境 内容 (2) (7)</p> <p>言葉 内容 (2) (3) (9)</p> <p>人間関係 内容 (6) (7) (8) 言葉 内容 (2) (3) (8) 表現 内容 (1) (2) (5) (6)</p> <p>環境 内容 (5) (6) (7) (8) 人間関係 内容 (12) 健康 内容 (7) (9)</p>	
反省・評価	<p>○遊びのイメージを持って友達と一緒に楽しめたか。</p> <p>○友達と一緒に作った物で遊ぶことを楽しめたか。</p>		

Ⅶ 研究の成果と課題

1 研究の成果

- (1) 幼児がイメージを豊かにするためには、様々な体験が必要であることから、直接体験はもちろんではあるが、幼児期には限界がある。そこで、絵本等からの間接体験を通して、様々な事や物へのため込みをしていく必要がある。そのことから、絵本の読み聞かせは有効であった。
(Ⅵ-1) (Ⅵ-2)。
- (2) 友達と一緒に遊びを進めていくためには、友達同士の思いや考えを出し合うことが必要である。そのために、一人一人が持っているため込みをもとに話し合いをすることによって、遊びが広がったり深まったりすることから、そのことの知識や表現力を育てるためにも絵本等は有効であった。
(Ⅵ-2)。
- (3) 遊びを深めていくには、もっと知りたい、想像したり予想を立てたり等していくことである。そのために知的好奇心を深めていく、ヒントを得ていく等の意欲につなげるために、絵本等が有効であった (Ⅵ-2)。
- (4) 幼児期の特性を活かして、絵本の世界にどっぷりと入り込み、なりきって遊ぶことで、遊びを広げ遊びの中に入っていき入り口としての絵本の活用は有効であった (Ⅵ-1) (Ⅵ-2)

2 今後の課題

- (1) 教師自身が幼児の遊びの幅をさらに広げるために広い視野を持ち、遊びを広げたり、深めていくための環境構成や援助の工夫を探っていきたい。
- (2) 幼児期ならではの想像の世界を理解し大切にしながら、遊びを広げたり、深めたりし、工夫していけるように、絵本の内容を広げて精選し、活用の仕方についてもさらに研究を深めていきたい。
- (3) 絵本に関して、幼児の興味や関心に寄り添いながら読み取することを大切に、幼児理解を深めていきたい。

〈〈主な参考文献〉〉

文部科学省		『幼稚園教育要領解説』	フレーベル館	2008年
秋田喜代美・野口 隆子	編書	『保育内容・言葉』	光生館	2009年
榎沢吉彦	編書	『保育内容・表現』	同文書店	2012年
太田光洋	編書	『保育内容・表現』	同文書店	2013年
文部科学省		『指導と評価に生かす記録』	チャイルド本社	2013年

〈資料〉 遊びを広げたり、深めたりする視点からの絵本等の例（・絵本 ○図鑑）

ねらう 内容	遊びの内容	遊びを広げる	遊びを深める
幼稚園 の楽し さを知 らせる 絵本	身近な遊び ・ままごと ・レストランご っこ ・砂遊び 集団遊びの絵本 ・おにごっこ ・かくれんぼ ・ジャンケン ・にらめっこ	・わたしとあそんで ・ぐるんぱのようちえん ・ようちえんだいすき ・はらぺこあおむし ・ぐりとぐら ・どうぞのいす ・うさぎおばさんのとくべつりょうり ・いただきますあそび ・いってらっしゃーい行ってきます ・14ひきのあさごはん ・100かいだてのいえ ・がんばれ！ねずみのおてつだい ・ママはいつでも いそがしい ・おかあさんと おかいもの ・もりのおかしやさん ・もりのあいすくりーむやさん ・ぎゅうぎゅうかぞく ・どろだんご つくろう ・よもぎだんご ・すなあそび ・おにごっこだいすき ・かくれんぼしましょ ・うしろにいるのだあれ ・みんなみんなみつけた ・もりのかくれんぼう ・じゃんけんぼん ・じゃんけんでんしゃ ・にらめっこ	・おいしいおと ・しろくまちゃんのホットケーキ ・ごはんたいすき ・ぼくのパンわたしのパン ・ごはんのはなし ・やさいのはなし ・さかなのはなし ・かいそうのはなし ・やさいとくだもの ・ばん ・やさいばたけ ・おとうふやさん ・いろいろかぞく ・すなのおしろ ・しずくのぼうけん ・光れ！泥だんご ・どろんこあそび ・かわ ・ふれあいあそびうた絵本 ・はないちもんめ
夏の自 然事象 に興味 や関心 をもつ 絵本	海のイメージ 小動物	・ぐりとぐらのかいすいよく ・にじいろのさかな ・ねずみのさかなつり ・スイミー ・うみべのハリー ・ガンピーさんのドライブ ・がんばれハリー ・エイサー！ハリー ・みんなでうみにいきました ・かたつむりののんちゃん ・せみとりめいじん ・ぼく、あぶらぜみ ・ちょうちょのしろちゃん	・およぐ ・はなび ○海の図鑑 ○貝の図鑑 ・いるか ○乗り物図鑑 ・海のさかな ・海のいきものかいかたそだてかた ・青いやどかり ・かたつむり ・あぶらぜみのくらし ○沖縄のセミ ○沖縄のクワガタムシ

<p>夏の自然事象に興味や関心をもち絵本</p>	<p>小動物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼく、ムシになっちゃった ・せみくん いよいよこんやです ・おたまじゃくしの101ちゃん ・999ひきのおたまじゃくし ・カマキリくん ・かまきりのかまくん ・からたちばやしの てんとうむし ・くいしんぼうの あおむしくん ・ごきげんななめのてんとうむし ・とべパッタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あげは ・かばまだら ・てんとうむし ・かたつむり ・カエル ・おたまじゃくし ・カブトムシのかいかた ・セミたちの夏 ・かぶとむし ・せみ <p>○小動物の図鑑</p> <p>○飼育図鑑</p> <p>○昆虫図鑑</p>
<p>友達の大切さや集団遊びの楽しさが味わう</p>	<p>運動会</p> <p>行事や経験から自分達で創作しなりきって遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園ごっこ ・病院ごっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・むしのうんどうかい ・とんぼのうんどうかい ・うんどうかいってたのしいな ・10ぴきのかえるのうんどうかい ・だれがいちばん はやいかな ・かえるのつなひき ・うさぎのみみはなぜながい ・どうぶつサーカスはじまるよ ・うさこちゃんとどうぶつえん ・くうちゃんえほんみつけた！ ・どうぶつえん おいしやさん ・ねずみのおいしやさま 	<p>○なく虫の図鑑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国旗の本 ・ちずあそび ・せかいちず絵本 ・につぼんちず絵本 ・よーい どん！ ・つな引きのお祭り ・しんぶんしでつくろう ・たのしいおもちゃ <p>○動物図鑑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よんでたのしい！いってたのしい！どうぶつえんガイド ・ははははのはなし ・ちのはなし ・はなのあなのはなし
<p>冬の自然事象に興味や関心をもち絵本</p> <p>文字や数字に興味や関心をもち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス ・郵便ごっこ ・学校ごっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・そりあそび ・かみさまからのおくりもの ・あのねサンタの国ではね ・サンタクロースはおおいそがし ・ゆきのひのゆうびんやさん ・からすのはいたつやさん ・魔女からの手紙 ・あいうえおてがみ ・からすのゆうびんきよく ・おへんじくください ・もうじき1年生 ・ともだちだいすき1年生 ・キツネがばけたランドセル ・えんぴつのおすもう ・あかちゃんだいすき1年生 ・いちねんせいのおすもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンタじいさんのいねむり ・ばばあちゃんのクリスマスかざり ・サンタクロースって本当にいるの ・となかいはなぜサンタのそりをひく？ ・はたらきもののじよせつしゃケイティー ・ゆうびんで一す ・もっとほんがよめるの ・いちねんせいのおすもう